

書道部通信第2号

令和8年6月24日 市立札幌清田高校書道部

練成会に参加して

1年1組 花輪 碧泉

私は、もっと字を上手く書きたいと思い、今回の練成会に参加しました。

床の上で大きい筆を使い、大きな紙に書くことはなかなか慣れず、とても大変でした。筆と墨に苦戦しているなかで、特別講師の野中先生に「一年生は、まず手本を見て、手本通りの形にすることが目標だ」というアドバイスをいただきました。確かに、授業では一度お手本だけをゆっくり見て、大切だと思った所を書き込んでいましたが、部活ではゆっくり見ずに書いていたことに気づけました。また、私は、最初にお手本の字を見て、私の字は太くて大きすぎると思い、小さく細くを意識していましたが、周りの上手な人たちを見ると、お手本よりやや字が大きいのが、線の太さと細さにメリハリがあることに気づけました。

練成会に参加して、私は授業ほどお手本をゆっくり見ていなかったこと、そして線の太さと細さのメリハリがないことに気づきました。次回からは、これらを意識して作品を作っていきたいです。



<校内練成会とは>

「部員相互が交流しながら、これからの各自の課題を見つけること」をねらいとして行っています。今回は、石狩支部の研究会（5月29日、北広西高）が中間考査直前で参加できなかったため、6月13日（土）の10:00～16:00に本校書道教室にて、高文連に向けての作品作りを目的として行いました。